

○計画の趣旨

本市の公共施設は今後一斉に更新のタイミングを迎えます。仮に現在の公共施設数を維持すると仮定した場合、インフラ施設、水道施設とあわせた今後の更新費用は、30年間で約2,288億円、年平均で約76.3億円かかる見込みになっています。一方で、本市の人口は減少を続け、令和27年には90,856人まで減少する見込みとなっています。こうした状況をふまえ、本市では門真市公共施設等総合管理計画を策定し、公共施設マネジメントの基本方針の1つに「施設総量の適正化」を定め、施設総量縮減を図ることとしました。

本計画は、施設総量の縮減を計画的に進めるため、施設の複合化や統廃合等による施設再編のモデル等を示し、将来的な予算の縮減や平準化、さらには施設配置の最適化を図るとともに、再編した施設における市民の利便性・利用率の向上を目指すことを目的とするものです。

○基本的な方針

【再編コンセプト】

- ① 長期的視点をもったサービス提供
- ② 将来を見据えた施設総量
- ③ より使いやすい施設への転換
- ④ 既存施設の有効活用

【再編方策】

- (1) 貸館機能の積極的な多目的室化
- (2) 専用室の集約
- (3) 再編後の延床面積は26%以上の効率化
- (4) 民間施設、学校施設の活用
- (5) 近隣市との広域連携によるサービス提供

【再編の方向性】

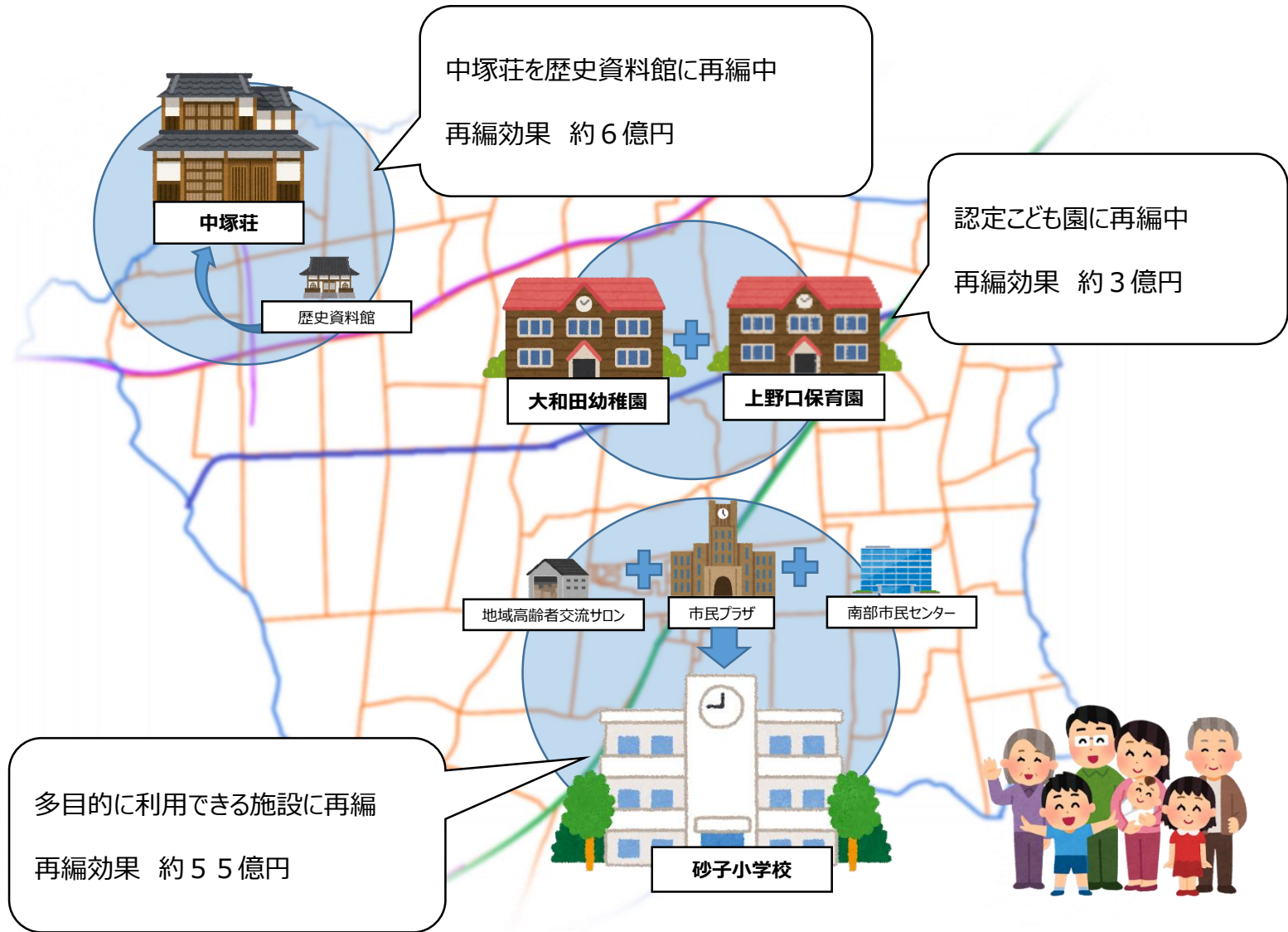
- 次の事項をふまえて総合的に定めます。
- ・総合判定結果（利用状況・コスト・設置目的等から施設を評価）
 - ・改修時期の目安（コストを抑えるために改修時期を整理）
 - ・現状と課題（現在の施設状況や周辺まちづくりの状況）
 - ・再編対策費と効果額（限られた予算のなかで必要なサービスを提供）

○再編の概要

施設名	再編
防災備蓄倉庫	各学校避難所へ分散配置
教育センター	規模を縮小して市役所庁舎に移転
生涯学習センター	砂子小学校へ移転
青少年活動センター	生涯学習センターに集約
市民公益活動支援センター	相談機能は市役所、会議室は生涯学習センターに集約するため廃止
こども発達支援センター	南部市民センター跡地で再整備
図書館分館	砂子小学校へ移転
南部市民サービスコーナー	砂子小学校へ移転
南部市民センター（貸館）	生涯学習センターに集約
地域高齢者交流サロン	集会機能は生涯学習センターに、高齢福祉機能は高齢者福祉センターに集約
中塚荘	歴史資料館として整備
歴史資料館	中塚荘に集約
上野口保育園	大和田幼稚園と集約して認定こども園に
大和田幼稚園	上野口保育園と集約して認定こども園に
市役所庁舎	庁舎エリアの整備

他、14施設の再編の方向性を検討中

主な再編イメージ図



POINT!

本計画全体で28施設の方向性を検討
全体で約130億円の効果を見込んだ施設再編により、継続的なサービスを実現